めんどくさいキャラクター図鑑

Profile 1

神イカ京

- 生まれたままの無造作ヘア
- 奇抜なもようのバンダナ
- やたらとふくれあがった巨大なリュック
- 「京大愛」を示す濃青のTシャツ。クリーニングには余念が無い
- 体からあふれ出るイカ京のオーラ
- 曇った度数高めの眼鏡
- 変に色落ちしたジーンズにインしたチェックのシャツ
- 使い古したウェストポーチ
- 底がすり減ったメーカー不明のスニーカー

【生態】
意外に東京都国立市出身。「京大愛が強すぎて」、なかなか卒業できず今年で15年目らしい。父も母も研究者でその影響を受けて研究者を目指し日々学業に打ち込むも、「京大雑学」も同じくらい打ち込みすぎて、ここぞと言うときに単位を落とし今に至る。愛読書は「京都大学百年史」。
京大に関する知識は右に出る者はいない。昔はインターネットから知識を得るのはダメと自分に言い聞かせていたが、最近はこっそりネットを見ている。女性全員を「女子」と言い、基本、照れて名前で呼べない。友達は名前の後に「氏」をつける。「まあ、あれだね～」「リアルに～」が口ぐせ。「リア充」という言葉にびん感。

【行動パターン】
性悪では無いが、「やたらめんどくさい京大知識を上から目線でひけらかす」こじらせ系先ぱいとしてその名をとどろかせる。そのつきぬけた京大知識量から、「神イカ京」とあがめられるが、その姿を見た者はいない。

ＨＰ　5000
レア度　★★★★★★
マニア度　★★★★★

Profile 2

こじらせゴリラ

- 「マサ京」を探し出す角帽型アンテナ
- 「シュッとした」感を出したいための蝶ネクタイ
- 京大に関するちょうマニアックなネタ帳
- 京大生の「イカ京」度レベルを測定するゴーグル
- 京大生をつかまえるときの虫取りアミ。ふだんは指し棒の中に格納されている。
- 大事な研究衣。少しでも汚れたら即クリーニングに出す。

【生態】
アフリカのウガンダ共和国出身で、今は吉田山に生息すると噂のゴリラ。アフリカの山奥で傷を負って動けないところを霊長類研究所助手時代の山極総長に保護され、共に日本へやってきたらしい。恩を感じ、総長を「ご主人」と思い、なぜか京大に関するちょうマニアックな知識のみが驚異的に発達している新種のゴリラらしい。性格はインテリ気質で、「シュッとした」感じにあこがれている。口調はバカていねいながらも、失礼なことをずばずば言う。昔、吉田神社の節分祭で鬼に間違われたことがトラウマになっている。ちなみにチンパンジーのアイちゃんには負けたくない。

【行動パターン】
ときどき吉田山からキャンパスに降りてきて、京大生をつかまえては、強引にちょうマニアックな知識を押しつける。特に、ちょっとこじゃれた男子やキラキラ女子（「マサ京」＝「イカ京」の対義語。まさか京大生の略。）を見ると知識を強要せずにはいられない。

ＨＰ　3500
レア度　★★★
マニア度　★★★★

Profile 3

内田由紀子先生

こころの未来研究センター
准教授

【生態】
社会心理学／文化心理学を専門とし、特定の社会や文化と、人の心との関係について研究を行うママさん研究者。性格は、思い立ったらもうれつな勢いでつき進む。大学時代、何度も学部を移り変わっただけでなく、人生の大事な転機＝「結婚」もしたのはアメリカ留学に旅立つ10日前。趣味は“人間関係”ウオッチング

Profile 4

ベニクラゲマン（久保田信先生）

フィールド科学教育研究センター准教授

【生態】
海洋生態系部門基礎海洋生物学分野で、特に「不老不死のベニクラゲ」の研究を行う。ベニクラゲの若返り実験では、世界記録保持者。その情熱があふれ出てしまい、時にベニクラゲマンに変身し、ゼミを行ったり自作の歌を熱唱したり。海の生物愛をモリモリ収録したCDも多数制作（自費制作）。当然、趣味は「カラオケ」。行きつけのカラオケ喫茶にほぼ毎日通い、自作の歌を熱唱しては、日夜ベニクラゲの普及に取り組んでいる

Profile 5

道っちゃん（高橋良和先生）

工学研究科准教授

【生態】
構造ダイナミクス分野の耐震工学を専門に研究。「国道」をこよなく愛する、自称“てっ（鉄）ちゃん”ならぬ“みっ（道）ちゃん”。めずらしい道路標識などを集めることに至福のよろこびを感じる。土木分野のスポークスマンを自認し、様々な土木マニアが集まり、熱いトークを繰り広げる、「どぼくカフェ」などを主催

Profile 6

木村大治先生

アジア・アフリカ地域研究研究科教授

【生態】
主にアフリカ人類学を専門としながら、その延長線上に、宇宙人を研究対象とした「宇宙人類学」なる新たな分野を開たく。「宇宙人類学研究会」を立ち上げ「宇宙人類学の挑戦」なる本も出版。宇宙人類学のフィールドは当然宇宙であるが、「行きたいけどまだ行けてない」ため、もっぱらSF小説や宇宙飛行士の手記を読みあさり、きたるべき宇宙人との対面に思いをはせる日々。趣味は茶道。京大茶道部心茶会の顧問を務める

Profile 7

マグマ大使（川本竜彦先生）

理学研究科地球熱学研究施設助教

【生態】
固体地球学を専門とし、地球の中の「水」について研究している。世界中から石を拾い集めては、中の成分を調べたり、その成り立ちに思いをはせつつ地球内部のなぞにせまる。人呼んで「マグマ大使」。趣味はたからづか鑑賞。人生をかけて演じるタカラジェンヌの姿に、自らの研究者魂を奮い立たせる日々

Profile 8

ビラがパズルの人（東田大志くん）

人間・環境学研究科博士課程学生（現 パズル研究家）

【生態】
日本でただひとりのパズル研究者。パズルの楽しさをたくさんの人に伝えるべく、キャンパス内はもちろん、全国47都道府県で自作のパズルを載せた手作りビラを配布してパズルのふきゅうに取り組んでいる。既に全国せいはを果たし、ついに世界進出中。人呼んで「ビラがパズルの人」。トレードマークのたすきは母の手作り。パズルが好きすぎて、どんな単純なものでも「パズルにすると･･･」と考えてしまう

Profile 9

なまず先生（尾池和夫先生）

尾池和夫　第24代元総長

【とくちょう】
きっすいの京大好きで、退任後も何かと京大キャンパス内での目撃情報がある。カレー好きが高じて、在職時代に「総長カレー」をプロデュースし大ヒット。京大グッズの中で未だに不動の人気を誇る。「なまず」も大好き